

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 6-1-5	事務事業名 乳幼児医療助成事業	所管部課 子育て支援部子育て支援課
----------------	--------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	乳幼児を養育している者に対し、乳幼児に係る医療費の一部を助成することにより、乳幼児の保健の向上と健全な育成を図り、もって子育ての支援に資する。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【事業内容・実施方法等】 本事業は東京都の医療費助成制度に沿って実施しており、市内に住所を所有し、6歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある乳幼児を持つ保護者に対して、乳幼児の疾病又は負傷について国民健康保険法又は社会保険各法の規定により、医療に関する給付が行なわれた場合における医療費の一部を助成する。助成は医療保険の自己負担額(2割)を補助するもので、都及び市において1/2ずつ負担している。なお、入院時の食事療養標準負担額については、助成していない。生活保護受給者、非課税者で心身障害者(児)医療費助成またはひとり親医療費助成を受給されている方は対象としていない。 (予算事業名 03.02.01.07 乳幼児医療助成事業費)	
事業開始年度	平成12 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)		387,168	366,116	379,733	396,237
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		180,515	169,346	176,589	194,097
地方債					
その他 (高額療養費受入金)		521	42	17	200
一般財源		206,132	196,728	203,127	201,940
所要人員(B)	人	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	7,936	8,211	7,936	8,299
臨時職員賃金等(C')	千円	2,975	2,938	3,006	3,184
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	398,079	377,265	390,675	407,720
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (対象者数)	千円	36	34	35	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① 対象者数	実績値 人	11,153	11,139	11,121	
②	実績値 人				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 助成件数(累積件数)	目標値 件				
	実績値 件	219,088	212,147	210,286	
二次	目標値 件				
	実績値 件				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	都の要綱に基づいた実施内容となっているが、入院時の食事療養標準負担額への助成について、平成28年4月現在、23区中で12区、市部で一部実施を含め3市が独自助成を行っている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>○検証項目、評価の判断理由</p> <p>○事業実施上の課題や今後改善すべき点等</p> <p>本事業は、東京都の医療費助成制度に沿って実施している事業である。助成は医療保険の自己負担額(2割)を補助している。</p> <p>受益者負担の観点からは、利用者に一部負担を求めることも考えられるが、乳幼児の保健の向上と健全な育成を推進するためには、保護者の負担軽減を図ることが重要と考え、引き続き継続して実施すべき事業と考える。</p> <p>入院時の食事療養標準負担額助成については、平成28年4月現在で23区中12区、市部では26市中3市が独自で助成を行っているが、現時点で見直す予定はない。</p> <p>なお、国制度として子供の医療費を全額助成するよう、全国市長会等を通じた要望を毎年行っている。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>○検証項目、評価の判断理由</p> <p>○事業実施上の課題や今後改善すべき点等</p> <p>乳幼児を養育している者に対し、乳幼児に係る医療費の一部を助成することにより、乳幼児の保健の向上と健全な育成を図り、もって子育ての支援に資することを目的としていることを考えると、今後も継続実施していくことが必要と考える。高額所得者については、都制度に準じ対象外とすることも考えられるが、現在の各市の状況、また、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している中で、子育て環境充実のために、乳幼児医療費助成制度を国の医療制度として要望していることも踏まえ、引き続き実施しつつ、他市の動向等を今後も注視していく必要がある。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>乳幼児の保健の向上と健全な育成のため、乳幼児に係る医療費の一部を助成する本事業は、子育て環境の充実、子育て支援の観点からも重要な取組である。</p> <p>今後は、国の医療制度への移行要望を継続しつつも、他市の動向等も踏まえて取り組まれない。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	国の医療制度への移行要望を継続しつつ、他市の動向も注視しながら、継続実施する。
---------------	---